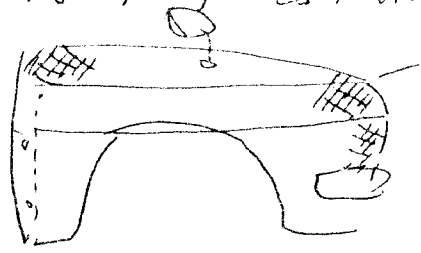


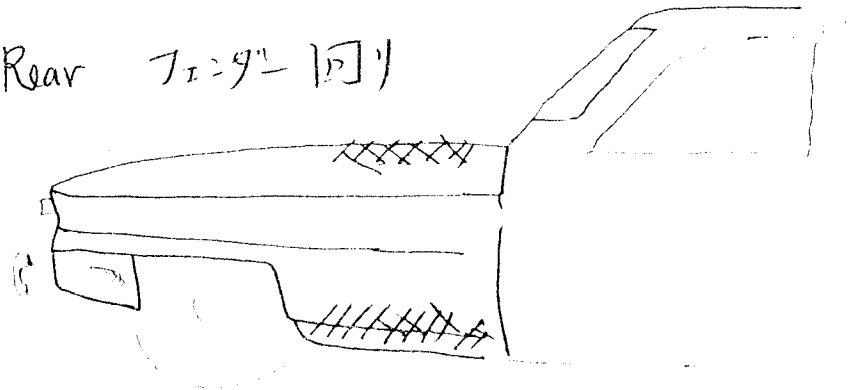
コンテッサと“錆”

“錆”... 聞いた(又は見た)だけで、いやな字ですね。先月未より、ツアードの雨のヨゴレを取るために、下回りを掃除し、Paint中代。愛車にヒカリのサビが発見されました。以前から予想していたものの、やはりかき云う状態です。最近の車は、サビに関してかなり改善されている様になっているようです。コンテッサも当時の技術でサビに耐えて進んでいた(宣伝上)様に記憶しております。しかし、これは筆墨上の事で、構造上の耐性は充分考えているとは思いません。素人ながらサビやすい(又はサビにくく出来る)支を考えてみたのです。以下の頁があげらぬのではどうかと考えます。

- ① Front バンパの下の床
- ② Front フェンダー回り(左右)



- ③ Rear フェンダー回り



- ④ フェンダーとボデーの取付りの肉(上部)全て
- ⑤ リヤサイトのマーク回り、又、リヤボンネットのクハのマーク回り

等々。雨水等、水分がタマル事が原因。

- ①に関しては、普段、干す時に手入れをしておけば防がれるでしょう。
- ②については、自然に長側にサビが広がるように、表側よりも裏側が錆びやすい状態に付与してある...と云った様な状態。

目より上より注意および藤なし? ア: ショートがあるので
難しうである。

③ 127には非常にイヤッ。上部は②の様は自然に。又、
下部は多分に防水のためのシール(ボテヒテープの
周)が原因にと思ひます。ここから水が入ると
完全にタマの様です。ひどい場合は、室内に這
入ってくる様です。又、サボのモールも肉保しず。

④ 二枚も長い間に 除々にやられる様です。完全ニシール
おみ外が手がたいては。ボテヒ、ウラ両方、(か
も、サビ以前に)

⑤ どういう由か、加斗・マークヤ・マークサボのクラフト
に付サビが良おたぬ様です。もちろん、ウラ側の
取り付け方法も問題です。特に、サボのマーク
付はサビにくく出来る構造です。

そう、ドアの水抜きが不完全で少し早期にサビが發生
します。ここも要注意!

さて、"錆"を防止する良い手はないか? とはして仰みか
せん。そこで、せめてもしらして (ジハードセル10年以上
前の車だと無理?)

① 水がタマッたりする事のない様完全にシール
する

② Paintのハカレに注意する

③ マーク等は、水のタマッ様な取付け方法を
考える。(モール類も) 又は、取り付けぬ。

皆様、何か、良いアイデアありませんか?

理想的には、ステンレス、アルミ、ガラス、セラミックにする手存とも
考えたいです。(しかし、型代の非常に高価) ボテヒが
鉄で出来て以上自然の腐蝕(鉄は、土から生れ、
土に又、土にかえる)にさらされるのでしらすか?